



寒さの中にも、少しずつ春の気配を感じられるようになってきました。子どもたちは、冷たい風にも負けず元気いっぱい過ごしています。先日の発表会では、温かいご声援をありがとうございました。これまでの遊びの中で、楽器遊びや劇遊びに繰り返し親しみ、「やってみたい」「今日もする？やった！」と楽しみながら取り組んできました。当日は、お家の方の姿を見つけてドキドキする様子もありましたが、大勢のお客さんの前に立ち、最後までやりきることができました。見てもらう嬉しさや拍手をもらった喜びは、子どもたちにとって大きな経験となり、「できた！」という気持ちが自信へと繋がっています。一つ大きくなろうとしている今、自分の力でやってみようとする姿も増えてきました。一人一人の成長を大切にしながら過ごしていきたいと思います。

お客さんに楽しんで
もらおうぞ！



劇遊び、見せ合いっこ
したよ！

カレシチュー
でーす！



新しい遊びが始まりました

保育室では新しく粘土遊びも加わり、遊びがさらに広がっています。丸めたり、伸ばしたりしながら「ケーキつくったよ」「へび！」「これ、おにぎり」と思い思いに見立てて楽しむ姿が見られます。友達のつくったものにも興味津々！「私もつくってみよう！」とイメージを膨らませる姿から表現する力や想像する力の育ちも感じられます。

丸めてみよう！



冬をみつけたよ

子どもたちが園庭で遊んでいると、いろんな発見や気づきがいっぱいです。朝一番に園庭に出ると、プールに雨水が溜まってできた氷をそら組さんを見つけ、こあら組さんにも見せてくれました。「先生！氷！冷たい～！」「なんで氷があるん？」と子どもたちは寒さを忘れて大喜びです。「先生！ここにも氷みつけたよ！」と教えてくれたのはチューリップの芽の中でした。子どもたちはチューリップを覗き込んで、冬をみつけて遊んでいます。

冷たい！氷！

はあーってしたら
白い！せーの！



大きい組さんと遊んだよ

発表会后に異年齢の交流も楽しみました。そら組さんには、これまで憧れのまなざしで劇遊びや楽器遊びを見せてもらっていた子どもたち。実際に楽器を触らせてもらい、「ここ持つんやで！」「たたいていいよ」と優しく教えてもらう中で、嬉しそうな笑顔がたくさん見られました。少し緊張しながらも真似をして音を出し「できた」と喜ぶ姿はとても微笑ましかったです。また、ばら組さんとは一緒にふれあい遊びをしたり、おばけの手遊びを楽しんだりしました。さらに、こあら組さんが劇遊びでやった「あけるよとびら」の手遊びをみんなの前で披露して張り切る様子は思わず笑みがこぼれました。見てもらうだけでなく、自分たちが伝える側になる経験も、子どもたちにとって大きな成長の一つとなっています。

すごい！楽しい

べったんこー！
ひっついた！

